

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		自治振興に関する事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		01 総務管理費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	09 諸費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		14,626	14,611	15,276	15,273	14,642
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	14,626	14,611	15,276	15,273	14,642
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	区長						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	町行政と地域自治組織との連絡調整を行い、行政浸透を図るとともに、地区住民の福祉増進に努める。						
⑤	事業概要						
	区長報酬（平均割・世帯割・調整割）及び退任区長記念品代						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	区長の業務も年々増加しており、区長会議時に区長報酬の引き上げの要望が出ている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町条例・区長の設置及び報酬支給規則						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	効率的である
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	町行政と地域自治組織の連絡調整は図られている。

⑪	課長総括評価 引き続き実施。 合計点 42
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町政功労者表彰関係事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		01 総務管理費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	09 諸費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		192	181	186	175	312
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	192	181	186	175	312
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	町政功労者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	各関係機関、各課に推薦基準を満たす候補者の推薦依頼を行い、選考委員会を経て被表彰者を決定する。表彰することにより、被表彰者のさらなる活躍を期待する。						
⑤	事業概要						
	各課に推薦基準を満たす候補者の推薦依頼を行い、選考委員会を経て被表彰者を決定する。功績等により表彰状、感謝状に区分し、記念品を添えて文化の日に行く。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	事業の必要性は高いが、年々被受賞者の出席率が低くなってきていた。平日の表彰式実施が一因と考え、平成27年度から11月3日の祝日に実施することにより、出席者の増加を見込んでいる。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町表彰条例						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	功労表彰者数	単位：人	実績値	14	41	32	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	設定困難	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 12	町政功労に対する労いの為にも手段としては妥当であり、事業の必要性は高い。しかしながら、町民ニーズ及び今の社会情勢に合致しているについてはどちらともいえないと評価する。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	効率的である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	町政功労者に対する労いとなっている。

⑪	課長総括評価 今後とも休日（祝日）で実施し、出席者の増加を見込む。 合計点 42
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		選挙管理委員会事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		04 選挙費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
目	01 選挙管理委員会費	重要推進プロジェクト該当の有無			<input type="checkbox"/>		
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		644	566	624	558	638
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	644	566	624	558	638
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内の選挙権を有する住民							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
選挙執行や選挙人名簿の登録・抹消等について審議、議決を行い、選挙が公正で円滑に執行されるよう、各種事務について、適正な運営を行うことを目指す。 選挙人名簿の調製については、住民情報システム、選挙管理システムにより、事務の正確化と簡素化を図る。							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> 選挙管理委員会の開催（選挙管理執行及び選挙人名簿の調製） 裁判員候補者予定者名簿、検察審査員候補者予定者名簿の調製。 その他、各種選挙の円滑な執行のため県選管と連絡調整を図る。 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
地方自治法、公職選挙法、裁判員法、検察審査会法、政治資金規正法等							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	委員会開催日数	単位：回	実績値	7	8	7	
			目標値	0	0	0	
定義 選挙管理委員会の開催日数							
B	付議件数	単位：件	実績値	50	77	30	
			目標値	0	0	0	
定義 選挙管理委員会への付議件数							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	地方自治法により、地方公共団体に選挙管理委員会を置くことが定められており、住民情報システム、選挙管理システムにより、適正に選挙人名簿の調製を行っている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	選挙管理システムにより、住民の異動情報が正確に反映され、選挙人名簿の調製等が行われている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	システムの導入により、正確かつ効率的に選挙人名簿の調製が行われている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	法令に基づき、年4回の選挙人名簿の定時登録等を適正かつ効率的に行った。

⑪	課長総括評価 法令に基づく必須の事業であり、今後も公正かつ適正に執行されるよう運営を行う。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		選挙啓発事業				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		04 選挙費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
目	02 選挙啓発事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		18	4	18	3	18
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	18	4	18	3	18
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民全般							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ・有権者の政治意識の向上を目指すとともに、投票参加と明るい選挙の推進を図る ・投票率の向上、きれいな選挙の実施 							
⑤	事業概要						
選挙に関する啓発推進 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小中学生を対象に明るい選挙啓発ポスターと標語の募集 ・町成人式で新有権者へ選挙啓発冊子を配布 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
市区町村明推協実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	選挙啓発応募数	単位：点	実績値	21	3	0	
			目標値	0	0	0	
定義	選挙啓発用ポスター・標語の応募数（対象：町内小中学校）						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	地道で細かな啓発事業を継続的に行う必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	各種啓発により、選挙・政治に関心が持てるよう、政治意識の向上を図る。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	必要最小限での調整をし、効率よく啓発事業を推進している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	各種の選挙において、近年投票率の低下が見受けられるが、有線放送等を活用した啓発により、期日前投票の投票者が増えてきている。

⑪	課長総括評価 選挙啓発ポスターや標語の募集などにより、小・中学生から政治、選挙に関心を持ってもらえるよう啓発を行うとともに、有線放送や選挙特集号「広報しかま」等の活用、町ホームページでの啓発を行い、投票総参加と明るい選挙の推進を図れるよう今後も継続的に実施する。 合計点 45
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		宮城県知事選挙費				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		04 選挙費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
目	03 宮城県知事選挙費	重要推進プロジェクト該当の有無			<input type="checkbox"/>		
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		3,831	3,783	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	3,600	3,676	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	231	107	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
有権者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
選挙の公正かつ適正な執行と有権者の投票総参加を目指し、投票率の向上を図る。							
⑤	事業概要						
平成29年11月20日任期満了に伴い、平成29年10月22日に宮城県知事選挙が実施され、同日に衆議院議員総選挙も実施された。（告示日：10月5日）							
<ul style="list-style-type: none"> ・期日前投票 10月6日～10月21日（16日間） 8時30分～20時 1投票所（役場1階） ・投票日当日 10月22日 7時～19時 9投票所 ・当日有権者数 5,855人 ・投票者数 3,698人 ・投票率 63.16% 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
公職選挙法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	放送回数 単位：回	実績値	0	22	0		
		目標値	0	0	0		
定義 町有線放送による選挙啓発							
B	啓発資材配布数 単位：枚	実績値	0	4,000	0		
		目標値	0	0	0		
定義 選挙啓発資材配布個数（ティッシュ・マスク・クリアファイル）							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	法定受託事務として定められており、公正かつ適正に選挙を執行した。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	選挙をとおして、町民の意見が政治・行政に反映されている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 14	国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に基づき交付された経費の範囲内で、適切に行った。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	前回の投票率と比較すると10.28ポイントの増となっており、各種啓発や衆議院議員総選挙と同日実施だったことも影響し、投票者数が増加した。

⑪	課長総括評価 合計点 48	法律の規定により、一定の期間内に選挙を執行する必要がある。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		参議院議員選挙費				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
		項	04 選挙費		小分類	01 町民が主役のまちづくり	
目		06 参議院議員選挙費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			0	0	0	0	6,257
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	5,795
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	462
	※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。						
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
有権者							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
選挙の公正かつ適正な執行と有権者の投票総参加を目指し、投票率の向上を図る。							
⑤	事業概要						
平成28年7月25日任期満了に伴い、平成28年7月10日に参議院議員通常選挙が実施された。（公示日：6月22日）							
<ul style="list-style-type: none"> ・期日前投票 6月23日～7月9日（17日間） 8時30分～20時 1投票所（役場1階） ・投票日当日 7月10日 7時～19時 9投票所 ・当日有権者数 6,044人 ・投票者数 3,603人 ・投票率 59.61% 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
公職選挙法							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	放送回数 単位：回	実績値	34	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義		町有線放送による選挙啓発					
B	啓発資材配付数 単位：枚	実績値	1,000	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義		選挙啓発資材配付個数（ティッシュ・絆創膏等）					
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	投票率 単位：%	実績値	0	60	0		
		目標値	0	0	0		
定義		参議院議員通常選挙投票率					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	法定受託事務として定められており、公正かつ適正に選挙を執行した。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	選挙をとおして、町民の意見が政治・行政に反映されている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に基づき交付された経費の範囲内で、適切に行った。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	前回の投票率と比較すると1.9ポイント増となっており、各種啓発等により、期日前投票の投票者は増加している。

⑪	課長総括評価 法律の規定により、一定の期間内に選挙を執行する必要がある。 合計点 45
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		金洗堰土地改良区総代選挙				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		04 選挙費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	04 金洗堰土地改良区総代選挙費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		97	37	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	97	37	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	有権者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	選挙の公正かつ適正な執行と有権者の投票総参加を目指し、投票率の向上を図る。						
⑤	事業概要						
	平成30年3月30日任期満了に伴い、平成30年3月15日に選挙期日（平成30年3月22日）が告示され、16日までの2日間立候補者受付を行ったが、立候補者数が22人であり、選挙すべき総代の数（22人）を越えなかったため、無投票となった。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	公職選挙法、土地改良法						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	法定受託事務として定められている。	
点数	14	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	選挙をとおして、組合員の意見が反映されている。	
点数	14	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	金洗堰土地改良区から交付される委託金の範囲内で適切に行った。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	今回は無投票であったが、適正かつ円滑に選挙事務を実施できた。	
点数	4	

⑪		
課長総括評価	土地改良法の改正により、土地改良区の総代選挙については、選挙管理委員会による管理が平成31年4月1日から廃止される。	
合計点	47	
今後の方向性	廃止	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		衆議院議員選挙費				
	担当課・係名		総務課 総務係				
	予算 科目	会計区分	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ		
		款		中分類	02 町民が主役のまちづくり		
項		小分類		01 町民が主役のまちづくり			
目	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>						
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		4,317	4,279	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	4,102	4,145	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	215	134	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
有権者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
選挙の公正かつ適正な執行と有権者の投票総参加を目指し、投票率の向上を図る。							
⑤	事業概要						
平成29年9月28日に衆議院が解散したことに伴い、平成29年10月22日に衆議院議員総選挙が実施され、同日に宮城県知事選挙も実施された。（公示日：10月10日）							
<ul style="list-style-type: none"> ・期日前投票 10月11日～10月21日（11日間） 8時30分～20時 1投票所（役場1階） ・投票日当日 10月22日 7時～19時 9投票所 ・当日有権者数 5,898人 ・投票者数 3,697人 ・投票率 62.68% 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
公職選挙法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	放送回数	単位：回	実績値	0	22	0	
			目標値	0	0	0	
定義 町有線放送による選挙啓発							
B	啓発資材配布数	単位：枚	実績値	0	4,000	0	
			目標値	0	0	0	
定義 選挙啓発資材配布個数（ティッシュ・マスク・クリアファイル）							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	法定受託事務として定められており、公正かつ適正に選挙を執行した。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	選挙をとおして、町民の意思が政治・行政に反映されている。	
点数	14	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に基づき交付された経費の範囲内で、適切に行った。	
点数	14	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	前回の投票率と比較すると5.13ポイント増となっており、各種啓発等や宮城県知事選挙と同日実施だったことも影響し、投票者数が増加した。	
点数	5	

⑪		
課長総括評価	法律の規定により、一定の期間内に選挙を執行する必要がある。	
合計点	48	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		地域づくり総合事業				
	担当課・係名		企画情報課 企画調整係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		01 総務管理費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	07 企画費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		989	830	960	958	816
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	989	830	960	958	816
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民全般、ボランティア団体等							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
<p>◎近い将来訪れる人口減少局面に対応するとともに、本町がさらに魅力で、持続可能なまちであり続けるための取り組みを推進していくための基本的な計画である「色麻町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に関し、必要な事項について審議する。</p> <p>◎町民主体のボランティア活動やサークル活動を実施し、まちづくりに参加する。</p>							
⑤	事業概要						
<p>○まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度～平成31年度） まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議</p> <p>○地域活性化負担金</p> <p>○地域おこしに関する情報提供</p> <p>○行政情報の収集</p> <p>○生け垣設置奨励金（H30：実績なし）</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
まち・ひと・しごと創生法、色麻町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱、生け垣設置事業奨励補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	創生総合戦略審議会	単位：回	実績値	1	1	1	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	総合戦略にも基づく施策の実施状況の検証を行っている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	外部評価を行うことで有効性が得られる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	年度ごとに進行管理検証を「創生総合戦略本部会議」で行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	重要実績評価指標（K P I）で達成度を評価している。

⑪	課長総括評価 次年度において最終年度となるが、さらに総合戦略を継続することとなるため、「遅れ」「未着手」の事業について十分検証し、第二次総合戦略においては、状況の変化等を的確に把握し、廃止を含め、必要な見直しを検討する必要がある。
合計点 44	
今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町広報紙発行事業				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		01 総務管理費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	03 広報費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		3,184	3,132	3,248	3,155	3,281
	財源 内訳	国県支出金	107	107	107	107	105
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	3,077	3,025	3,141	3,048	3,176
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民を対象とする。							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町の施策、事業、各種サービスや身近な出来事など、町民に役立つ情報の提供を行う。							
⑤	事業概要						
町広報紙の発行。 ・月／1回×12回							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
地域に対する興味を深め町民参加型の情報提供に努めたいが、個人情報・プライバシーの意識が高いため記事の掲載には気配りが必要である。また、職員の広報紙を活用して町のPR等を行うという意識の高揚が図られるように努める必要がある。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	年間発行数	単位： 頁	実績値	232	220	230	
			目標値	240	240	240	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	月1回の広報紙発行により町からの情報を伝えている。インターネット等の普及もあるが、高齢者は文字からの情報収集が多いと考えられるので妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	町民の誰もが見ることが出来、有効である。インターネットの普及により検討課題も出てくると思われる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	最低限のページ数で情報の提供を行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	町民に身近な情報発信の提供が出来た。

⑪	課長総括評価 合計点 48	広報紙の発行に当たっては、わかりやすい内容と、見やすいレイアウトに尚一層取り組んでいく必要がある。引き続き、町民への情報発信のツールとして実施していく。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		統計調査総務費				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
		項	05 統計調査費		小分類	01 町民が主役のまちづくり	
目		01 統計調査総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2	2	28	17	2
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2	2	28	17	2
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 統計調査研究会（統計調査員）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 各種統計調査事務の基礎知識の修得、統計研究会に対する支援						
⑤	事業概要 宮城県統計協会負担金 ・統計に関する研修会、統計大会への参加 ・統計功労者の表彰 ・みやぎ手帳等の頒布						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 宮城県統計協会への賛助金（加入団体の減少）、事業収入（みやぎ手帳の販売数）の減少により、各市町村への負担金が昨年に比べ増加している。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	みやぎ手帳の頒布 単位：枚	実績値	87	78	58	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	統計業務を行う上での統計調査員の資質向上。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	統計業務をまとめるためにも、各地区において統計調査員は必要である
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	最小限の予算の中で行っている
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	統計調査員の欠員もなく、調査実施においては回収率100%となっている。

⑪	課長総括評価 統計調査員の事務改善及び向上、会員相互の連絡協調を図る必要があるため、現状のまま継続する。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		統計調査員確保対策事業				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		05 統計調査費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	03 統計調査員確保対策事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		56	55	52	52	40
	財源 内訳	国県支出金	21	21	21	21	21
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	35	34	31	31	19
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
登録統計調査員（37名）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
統計調査員の選任が困難になっている現状を改善するため、統計調査員の登録、資質の向上、統計調査員の確保に関する事業に資することを目的。							
⑤	事業概要						
登録調査員に対する研修会等の開催と、統計調査員管理システムを運用し統計調査従事者の実績の管理を行う。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
調査員従事希望は減少している。また、統計調査を行う上での環境の悪化（核家族化・個人情報の保護）、統計調査の複雑化（タブレット端末使用）などにより、調査員の確保が課題となる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
統計調査員確保対策事業実施要領（H17総務省）							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	研修会実施回数	単位：回	実績値	1	1	1	
			目標値	1	1	1	
定義 統計調査員の資質向上							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	20	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	統計調査をスムーズに行う事が出来る
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	統計調査員を確保するには有効である
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	県の委託金が廃止となり、最低限の経費で維持している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	現状維持の状態である

⑪	課長総括評価 今後、さらに統計調査員の高齢化進み、後継者の確保が課題となる。 現在は各行政区からの推薦としているが、さらに当該事務の重要性について、町民に対して周知していく必要がある。
合計点 49	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		経済センサス調査区設定費				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		05 統計調査費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
	目	02 経済センサス調査区管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5	5	5	5	5
	財源 内訳	国県支出金	4	4	4	4	4
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1	1	1	1	1
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内全域							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
経済センサス-基礎・活動調査の事業所・企業の調査区を設定し正確かつ円滑に行う。 <総務省>							
⑤	事業概要						
経済センサス調査における、事業所、企業の調査区の設定・管理を行う。<毎年>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
調査区によっては、事業所が存在しない調査区もあるため隣接する調査区との調整が必要。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
経済センサス調査区管理 都道府県の事務処理基準							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名		H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	国からの指定統計である（統計法により規定されている）
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	新規事業所の把握、事業所の住所変更等調査区の管理を行い調査を円滑に行うため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基幹統計調査
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	達成されている

⑪	課長総括評価 合計点 50	指定統計（総務省）である。 現状のまま継続とする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		工業統計調査事業（指定統計10号）				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
		項	05 統計調査費		小分類	01 町民が主役のまちづくり	
目		04 工業統計調査費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		61	59	62	62	62
	財源 内訳	国県支出金	59	59	60	60	60
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2	0	2	2	2
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	製造業に属するすべての事業所（従業者4人以上の事業所）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	町内における工業の実態を把握し、工業に関する基礎資料を得る。＜経済産業省＞ ・国や地方公共団体が立案する景気対策、中小企業対策の基礎資料 ・工業用地、工業用水の整備計画のための基礎資料等						
⑤	事業概要						
	町内における工業の実態を把握するため調査した。調査員2名を配置し、6月1日基準日で行われる。＜毎年＞						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	前年（H29）前々年（H28）とで事業所数は変わらないが、従業者数、製造出荷額等は減少。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	工業統計調査規則						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	調査票回収率	単位： %	実績値	0	100	100
				目標値	0	100	100
	定義						
	B		単位： —	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指 標 名			H28	H29	H30
A			単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
定義							
B			単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	国からの指定統計である（統計法により規定されている）
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	国、地方公共団体等の各種施策及び地域分析の基礎資料となるため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基幹統計調査
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	国や地方公共団体が立案する景気対策、中小企業対策、工業用地、工業用水等の整備計画などに利用されている。

⑪	課長総括評価 合計点 50	指定統計（経済産業省）である。 現状のまま継続とする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		住宅・土地統計調査費					
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係					
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ		
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり		
項		05 統計調査費	小分類		01 町民が主役のまちづくり			
目	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>							
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算	
	総事業費（千円）		0	0	0	0	0	
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。								
③	対象（誰、何を対象にするのか） 町内全域（抽出調査）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 住宅等に関する実態及び現住居以外の住宅・土地の保有状況等を調査し、その現状を全国及び地域別に明らかにし、住宅・土地関連諸施策の基礎資料を得る。＜総務省＞							
⑤	事業概要 住宅に関する実態および住環境、現住居以外の住宅、土地保有状況等を調査するため、指導員1名・調査員2名を配置し調査。 ＜5年に1回＞							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 個人情報の意識の高まりにより封入提出が実施されたことにより、調査票の不備部分の確認が出来ないままの回収となり、事後処理が多くなっている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 住宅・土地統計調査規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）							
	指標名			H28	H29	H30		
	A	調査票回収率 単位：%	実績値	0	0	100		
			目標値	0	0	100		
	定義							
B		単位：	実績値	0	0	0		
			目標値	0	0	0		
定義								
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）							
	指標名			H28	H29	H30		
	A		単位：	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
	定義							
B		単位：	実績値	0	0	0		
			目標値	0	0	0		
定義								

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	1
イ 最も適切な方法で行われている	1
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	1
評価の説明 点数 3	国からの指定統計である（統計法により規定されている）
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	1
イ 目的を達成するために有効な事業である	1
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	1
評価の説明 点数 3	住宅・土地の保有等に関する実態を明らかにし、住宅・土地関連諸施策の基礎資料を得るため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	1
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	1
ウ 受益者負担は適正である	1
評価の説明 点数 3	基幹統計調査
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	1
評価の説明 点数 1	住生活基本計画、総合開発計画等各種行政の重要な基礎資料として利用されるため現状維持。

⑪	課長総括評価 合計点 10	指定統計（総務省）である。 現状のまま継続とする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農林業センサス事業				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		05 統計調査費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
目	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>						
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		0	0	0	0	1,310
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	1,310
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農家及び農家以外の農業事業体、林家及び林家以外の林業事業体							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
農林業経営体の耕地、山林の規模別分布や利用状況、作物の栽培や家畜の飼養状況等の現状を明らかにし、農林行政の推進及び農林業の国際比較に基礎等総括的な統計資料を整備する。＜農林水産省＞							
⑤	事業概要						
農林業経営体調査(平成27年2月1日基準日) <5年に1回>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
調査員の高齢化、後継者不足が現状課題となる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
農林業センサス規則							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	1
イ 最も適切な方法で行われている	1
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	1
評価の説明 点数 3	国からの指定統計である（統計法により規定されている）
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	1
イ 目的を達成するために有効な事業である	1
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	1
評価の説明 点数 3	国、地方公共団体等の各種施策及び地域分析の基礎資料となるため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	1
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	1
ウ 受益者負担は適正である	1
評価の説明 点数 3	基幹統計調査
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	1
評価の説明 点数 1	現状維持の状態である

⑪	課長総括評価 合計点 10	指定統計（農林水産省）である。 現状のまま継続とする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		経済センサス事業				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		05 統計調査費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
目	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>						
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		0	0	0	0	97
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	95
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	2
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 全国すべての事業所及び企業を対象。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 全産業分野の売り上げ金額や費用などの経理項目を同一時点で把握し、経済活動の実態を明らかにし、各種統計調査の母集団情報として利用。						
⑤	事業概要 調査基準日 令和元年6月1日 事業所の所在地、経営組織、従業員数などの基本的な項目を調査。次年度実施の準備年。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 個人情報保護の観点から調査への回答が難しくなりつつある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 経済センサス活動調査規則						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： %	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	国からの指定統計である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	国、地方公共団体等の各種施策および地域分析の基礎資料となるため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基幹統計調査である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	回収率100%で終了。

⑪	課長総括評価 合計点 50 今後の方向性	指定統計（総務省・経済産業省）である。 現状のまま継続とする。 現状のまま継続
----------	----------------------------	--

⑫	二次評価 今後の方向性	
----------	----------------	--

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町統計書作成事業				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
項		05 統計調査費	小分類		01 町民が主役のまちづくり		
目	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>						
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		0	0	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町の各分野における統計データ							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町民等が必要な情報をいつでも閲覧できるようウェブサイトへ掲載。							
⑤	事業概要						
人口、経済、産業、教育など体系毎に分類し、編集。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
各種統計調査の最新データは、総務省統計局又は宮城県統計課のウェブサイトにていつでも閲覧が出来る							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	掲載項目数	単位：	実績値	0	0	12	
			目標値	0	0	12	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	ウェブサイトの閲覧回数	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	5年毎に町の各分野における基本的な統計資料を公表。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	行政施策の基礎資料として活用。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	必要最低限の経費で行っている。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	各関係機関の協力の下、公表できた。	
点数	4	

⑪		
課長総括評価	他市町村、類似団体等の統計書の掲載項目、周期等の作成方法について、見直しを含めた検討が必要である。	
合計点	49	
今後の方向性	改善の上継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		戸籍住民基本台帳事業				
	担当課・係名		町民生活課 住民年金係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	06 みんなで支え合うチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 町民が主役のまちづくり	
		項	03 戸籍住民基本台帳費		小分類	01 町民が主役のまちづくり	
目		01 戸籍住民基本台帳費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		18,065	18,012	14,016	13,960	15,922
	財源 内訳	国県支出金	1,940	243	2,054	364	1,759
		その他特定財源	3,410	3,875	3,410	3,442	3,015
		一般財源	12,715	13,894	8,552	10,154	11,148
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内に本籍を有する日本人、町内に住所を有する日本人及び外国人							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
国民の身分関係の公証、戸籍及び住民基本台帳に関する記録等を適正に管理し、国民の福祉・利便の増進と行政の合理化に資する。							
⑤	事業概要						
戸籍の受付審査、戸籍の作成及び適正な管理、住民票等各種証明書の交付、住民及び外国人に関する登録。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
住民基本台帳法やマイナンバー法の改正に伴い、それらに対応した電算システムの改修が必要になる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
戸籍法、住民基本台帳法、出入国管理及び難民認定法（入管法）、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）、人口動態調査令。							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義	設定困難						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	戸籍法及び住民基本台帳法に基づき、適正に処理されている。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	戸籍及び住民基本台帳は行政サービスの基礎となるものである。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	戸籍も含めて電算化されており、効率的に処理されている。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	戸籍の記載、外国人登録や人口動態などの住基関係の登録、住基ネット関係業務等、的確で迅速に処理されている。	
点数	5	

⑪	課長総括評価	本事業は行政事務を執行する上で、きわめて重要な役割を持っていることから、今後も適正に執行する。
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		